

報告書作成に係る全体の注意事項

1. 本報告書は、平成24年5月1日現在で作成してください。
2. 様式中の項目にある注書きは削除せず、記載したままにしてください。
3. 全ページ通しページを付すとともに、表紙の次に目次を入れてください。
4. 項目ごとにインデックス（番号のみ）を貼付してください。
5. 本報告書は、A4サイズ縦型、両面印刷、左上とし、左側2穴空けとしてください。（背表紙などは不要です。）
6. 原則として、「設置区分」（認可時「基本計画書」の「計画の区分」）ごとに報告書を作成してください。
（ただし、同じ開設年度に複数の学科を同じ学部を設置した場合等については、記載内容の重複を考慮し、複数の「設置区分」の学部等をまとめて1つの報告書で提出してもかまいません。）
7. 昨年度以前に報告した箇所は黒字で残し、本年度に変更する箇所は朱書き・見え消し修正にて記載してください。
8. 該当がない項目については「該当なし」と記載し、インデックスも貼付してください。
9. 大学番号の欄については、平成24年3月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について」（依頼）の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

注3

大学番号：私128

[平成24年度設置]

計画の区分：大学院の設置

注1

認可

東京基督教大学大学院 神学研究科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 東京キリスト教学園
平成25年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 教務部教務課

職名・氏名 カチヨウホ サ タカハン ノブキ
課長補佐 高橋 信希

電話番号 0476-46-1131

（夜間） 0476-46-1131

F A X 0476-46-1405

e-mail nobuki@tci.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は認可時基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

認可時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

注3

大学番号：000

[平成〇〇年度設置]

計画の区分：〇〇〇〇

注1

意見伺い

〇〇大学 △△学部 □□学科

注2

【意見伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 〇〇〇〇〇
平成24年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 フ リ ガ ナ

電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

（夜間） 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

F A X 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

e-mail 〇〇〇@〇〇.〇〇.〇〇

(注) 1 「計画の区分」は認可時基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

認可時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成24年3月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1 調査対象大学等の概要等	1
(1)設置者	
(2)大学名	
(3)大学の位置	
(4)管理運営組織	
(5)調査対象研究科等の名称、定員、入学者の状況等	2
①調査対象研究科等の名称、定員	
②調査対象研究科等の入学者の状況	
③調査対象研究科等の在学者の状況	3
④調査対象学部等の退学者等の状況	4
2 授業科目の概要	5
(1)授業科目表	
(2)授業科目数	
(3)未開講科目	6
(4)廃止科目	
(5)授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」および「学生への周知方法」	
(6)「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合	
3 施設・設備の整備状況, 経費	7
4 既設大学等の状況	8
5 教員組織の状況	9
(1)担当教員表	
(2)専任教員数	10
(3)専任教員辞任等の理由	11
(4)専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」	
6 留意事項に対する履行状況等	12
7 その他全般的事項	13
(1)設置計画変更事項等	
(2)教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）	
(3)自己点検・評価等に関する事項	14
(4)情報提供に関する事項	

(添付資料)

学生募集要項案（2014年度）

東京基督教大学ファカルティ・ディベロップメント（FD）委員会規程

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 東京キリスト教学園

(2) 大学名

東京基督教大学大学院

(3) 大学の位置

〒270-1347
千葉県印西市内野三丁目301番5

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	認可時	変更状況	備考
理事長	(アカエ ヒロユキ) 赤江 弘之 (平成16年6月)	(ヒロセ カオル) 廣瀬 薫 (平成24年5月)	任期満了による交代のため(25)
学長	(クラサワ マサノリ) 倉沢 正則 (平成18年4月)		
研究科委員長	—	(ヤマグチ ヨウイチ) 山口 陽一 (平成24年4月)	

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成23年度に報告済の内容 → (23)

平成25年度に報告する内容 → (25)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成23年度開設の博士後期課程の場合(平成25年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
神学研究科 神学専攻(修士課程) 修士(神学)	2年	18人	36人	基礎となる学部等 神学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度	平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
A 入学定員		18人 (-) [-]	18人 (-) [-]			0.86倍	
志願者数		18 (-) [5]	16 (-) [3]				
受験者数		18 (-) [5]	15 (-) [3]				
合格者数		17 (-) [4]	15 (-) [3]				
B 入学者数		17 (-) [4]	14 (-) [3]				
入学定員超過率 B/A		0.94	0.78				

- (注) ・ 数字は, 平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度	平成24年度	平成25年度			備 考
		春季入学	春季入学			
1年次		[4] 17	[3] 14	[]	[]	
2年次			[4] 17	[]	[]	
計		[4] 17	[7] 31	[]	[]	

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成21年度開設の4年制の学科の場合(平成24年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
神学研究科 神学専攻(修士課程) 修士(神学)	2年	18人	36人	基礎となる学部等 神学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平均入学定員 超過率	備考
	平成24年度	平成25年度		
A 入学定員	18 (-) [-]	() []	0.94倍	
志願者数	18 (-) [5]	() []		
受験者数	18 (-) [5]	() []		
合格者数	17 (-) [4]	() []		
B 入学者数	17 (-) [4]	() []		
入学定員超過率 B/A	0.94			

- (注) ・ 数字は, 平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年度で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	対象年度	平成24年度	平成25年度					備 考
		春季入学	春季入学					
1年次		[4] 17	[]					
2年次			[]					
計		[4] 17	[]					

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数 に対する退学 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	17 人	0 人	平成24年度	人	人		0
			平成25年度	人	人		
平成25年度 入学者	14 人	0 人	平成25年度	人	人		0
			平成26年度	人	人		
合 計	31 人	0 人					0

(注)・数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学者数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)

・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、

【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学

・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

に 者数
%
%
%

ま

ださい。

2 授業科目の概要

<神学研究科 神学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
聖書学	聖書学特殊研究Ⅰ（旧約・新約聖書緒論）	1①	2			2						
	聖書学特殊研究Ⅱ（聖書解釈学）	1②	2			1						
	聖書学特殊研究Ⅲ（五書研究）	1①		2		1						
	聖書学特殊研究Ⅳ（歴史書研究）	1②		2			1					
	聖書学特殊研究Ⅴ（聖文書研究）	1③		2			1					
	聖書学特殊研究Ⅵ（預言書研究）	1② 1④		2		1						時間割編成上の理由により、 配当学期を変更（24）
	聖書学特殊研究Ⅶ（新約聖書とその世界）	1③ 1④		2		2						時間割編成上の理由により、 配当学期を変更（25）
	聖書学特殊研究Ⅷ（福音書研究）	1③ 1②		2		1						時間割編成上の理由により、 配当学期を変更（24）
	聖書学特殊研究Ⅸ（パウロ研究）	1② 1③		2		1						時間割編成上の理由により、 配当学期を変更（25）
	聖書学特殊研究Ⅹ（新約聖書神学）	1① 1②		2		1						時間割編成上の理由により、 配当学期を変更（25）
神学・教会	神学・教会特殊研究Ⅰ（近現代のプロテスタント神学）	1②	2			1						
	神学・教会特殊研究Ⅱ（宗教多元社会と公共哲学）	1① 1③		2		1						
	神学・教会特殊研究Ⅲ（日本キリスト教史）	1④ 1②		2		1						時間割編成上の理由により、 配当学期を変更（24）（25）
	神学・教会特殊研究Ⅳ（現代キリスト教の世界的展開）	1③ 1②		2						兼 2		
	神学・教会特殊研究Ⅴ（宗教改革史）	1③ 1④		2						兼 1		時間割編成上の理由により、 配当学期を変更（24）（25）
	神学・教会特殊研究Ⅵ（教会とミニストリー）	1① 1②	2			1						
	神学・教会特殊研究Ⅶ（宗教教育学）	1③ 1④		2		1						時間割編成上の理由により、 配当学期を変更（24）（25）
	神学・教会特殊研究Ⅷ（宗教心の発達）	1③ 1②		2		1						時間割編成上の理由により、 配当学期を変更（24）
	神学・教会特殊研究Ⅸ（キリスト教公共福祉）	1② 1③		2		1						時間割編成上の理由により、 配当学期を変更（24）
	神学・教会特殊研究Ⅹ（教会と法律）	1② 1①		2						兼 1		
	神学・教会特殊研究Ⅺ（日本の諸宗教とキリスト教）	1① 1③		2						兼 2		時間割編成上の理由により、 配当学期を変更（25）
研究・演習	神学研究の基礎	1①	1			5						
	研究指導	1~2通	4			7						
	神学総合演習	2②	1			5						
	説教演習Ⅰ	1通		1		1						
	説教演習Ⅱ	2通		1		1						
	実践神学演習Ⅰ	1通		1		1						
	実践神学演習Ⅱ	2通		1		1						

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成24年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
7	21		28	7	21		28	
				[0]	[0]		[0]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	「該当なし」					
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	「該当なし」					
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「該当なし」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	35,493.94 m ²	0 m ²	0 m ²	35,493.94 m ²				
	運動場用地	23,432.50 m ²	0 m ²	0 m ²	23,432.50 m ²				
	小 計	58,926.44 m ²	0 m ²	0 m ²	58,926.44 m ²				
	そ の 他	19,123.00 m ²	0 m ²	0 m ²	19,123.00 m ²				
	合 計	78,049.44 m ²	0 m ²	0 m ²	78,049.44 m ²				
(2) 校 舎	専 用	6,248.84 m ²	0 m ²	0 m ²	6,248.84 m ²	大学全体			
	(6,248.84 m ²)	(0 m ²)	(0 m ²)	(6,248.84 m ²)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	申請研究科全体			
	2室	2室	0室	0室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		申請研究科全体			
	神学研究科			8 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	申請研究科全体 教育研究環境向上 のため予定より増 冊したため (24)	
	神学研究科	48,900 [34,900] 48,490 [35,595] 46,800 [34,500] (47,700 [34,300]) -(46,000 [34,000])	406 [260] 358 [225] 350 [225] (392 [250]) (352 [220]) (345 [220])	25 [25] 11 [11] 10 [10] (25 [25]) (11 [11]) (10 [10])	640 410 (610) (400)	0 (0)	0 (0)		
	計	48,490 [35,595] 48,490 [35,595] 46,800 [34,500] (47,700 [34,300]) -(46,000 [34,000])	358 [225] 358 [225] 350 [225] (352 [220]) (345 [220])	25 [25] 11 [11] 10 [10] (25 [25]) (11 [11]) (10 [10])	640 410 (610) (400)	0 (0)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体			
	1,085.08 m ²	48席		120,000					
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体			
	767.85 m ²	なし							
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	申請研究科全体 大学院専任教員に増 額したため (24)
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	360千円 300千円	360千円 300千円	図書購入費	5,900千円	6,000千円	6,000千円	
	共 同 研 究 費 等	800千円	800千円	設備購入費	141千円	0千円	0千円		
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次						学びと生活の環境充 実に対応した値上げ のため (24)
	1,020千円 987千円	810千円 797千円							
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、寄付金収入、資産運用収入、雑収入等						

- (注) ・ 設置認可時の計画を、認可申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれて
いる場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の
項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成24年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(24)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	東京基督教大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
神学部	4年	35人	10人 (3年次)	160人	—	0.81倍	平成2年	印西市内野3丁目301番5	
神学科	4年	15人	10人 (3年次)	80人	学士（神学）	1.07倍	平成2年	印西市内野3丁目301番5	
国際キリスト教福祉学科	4年	20人	—	80人	学士（国際キリスト教教学） 学士（キリスト教福祉学）	0.64倍	平成20年	印西市内野3丁目301番5	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部、学科）大学院（専攻）及び短期大学（学科）について、それぞれの学校種ごとに、平成25年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。その際、AC対象学部学科等についても当該様式に記入してください。（ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<〇〇学部 △△学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
(記入例) 専	教授	〇〇〇〇 (〇〇)	平成22年4月	国際経済学 日本経済概論	兼任	講師	◆◆◆◆ (〇〇)	平成23年4月	国際経済学	平成23年3月 〇〇〇〇教授辞任のため 平成23年度より担当者の 変更(23) 平成23年7月 AC教員審査済(24)
					兼任	講師	◇◇◇◇ (〇〇)	平成23年4月	日本経済概論	
					専	准教授	●●●● (〇〇)	平成23年10月	国際経済学 日本経済概論	
専	講師	△△△△ (〇〇)	平成23年4月	商法						……………のため、就任が遅延 (23)
専	准教授	□□□□ (〇〇)	平成24年10月	金融論			後任未定			平成24年10月 □□□□准教授就任辞退(25) 「後任未定」平成25年10月 から専任教員採用予定で 公募中。 「金融論」は、他に担当教 員が1名いるため、支障 はない。
					兼任	教授	▲▲▲▲ (〇〇)	平成25年4月	〇〇〇〇論	平成25年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(25)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
()	()	()	()	()	[]	[]	[]	[]	[]	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として

}

[

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

(注)・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

5 教員組織の状況

<神学研究科 神学専攻（修士課程）>

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	
専任	教授	Stephen Franklin (67)	平成24年4月			(68)		
専任	教授	稲垣 久和 (64)	平成24年4月			(65)		
専任	教授	木内 伸嘉 (59)	平成24年4月			(60)		
専任	教授	小林 高德 (56)	平成24年4月			(57)		
専任	教授	伊藤 明生 (54)	平成24年4月			(55)		
専任	教授	山口 陽一 (53)	平成24年4月			(54)		
専任	教授	岡村 直樹 (50)	平成24年4月			(51)		
専任	准教授	John Randall Short (42)	平成24年4月			(43)		
兼任	教授	櫻井 園郎 (64)	平成24年4月	兼任	講師	(65)		特任教員（専任）の任期満了(25)
兼任	教授	倉沢 正則 (60)	平成24年4月			(61)		
兼任	准教授	宮脇 聡史 (42)	平成24年4月	兼任	講師	(44)		大阪大学世界言語研究センターへの転出(24)
兼任	講師	丸山 忠孝 (73)	平成24年4月			(74)		
兼任	准教授	大和 昌平 (57)	平成24年4月		教授	(58)		教授昇格(24)
兼任	講師	清野 勝男子 (68)	平成24年4月			(69)		

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程))の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
6	1	7	6	1	7		
(6)	(1)	(7)	[0]	[0]	[0]	63歳	2名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

5 教員組織の状況

<神学研究科 神学専攻（修士課程）>

(1) 担当教員表

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業 科目名	
専任	教授	Stephen Franklin (67)	平成24年4月	神学・教会特殊研究Ⅰ (近現代のプロテスタント神学) 神学研究の基礎※ 研究指導						
専任	教授	稲垣 久和 (64)	平成24年4月	神学・教会特殊研究Ⅱ (宗教多元社会と公共哲学) 神学・教会特殊研究Ⅲ (キリスト教公共福祉) 神学総合演習※ 研究指導						
専任	教授	木内 伸嘉 (59)	平成24年4月	聖書学特殊研究Ⅰ※ (旧約・新約聖書緒論) 聖書学特殊研究Ⅲ (五書研究) 聖書学特殊研究Ⅵ (預言書研究) 神学研究の基礎※ 神学総合演習※ 研究指導						
専任	教授	小林 高德 (56)	平成24年4月	聖書学特殊研究Ⅶ※ (新約聖書とその世界) 聖書学特殊研究Ⅷ (福音書研究) 聖書学特殊研究Ⅹ (新約聖書神学) 神学総合演習※ 研究指導						
専任	教授	伊藤 明生 (54)	平成24年4月	聖書学特殊研究Ⅰ※ (旧約・新約聖書緒論) 聖書学特殊研究Ⅱ (聖書解釈学) 聖書学特殊研究Ⅶ※ (新約聖書とその世界) 聖書学特殊研究Ⅲ (パウロ研究) 神学研究の基礎※ 神学総合演習※ 研究指導						
専任	教授	山口 陽一 (53)	平成24年4月	神学・教会特殊研究Ⅲ (日本キリスト教史) 神学・教会特殊研究Ⅵ※ (教会とミニストリー) 神学研究の基礎※ 説教演習Ⅰ 説教演習Ⅱ 実践神学演習Ⅱ 研究指導						
専任	教授	岡村 直樹 (50)	平成24年4月	神学・教会特殊研究Ⅵ※ (教会とミニストリー) 神学・教会特殊研究Ⅶ (宗教教育学) 神学・教会特殊研究Ⅷ (宗教心の発達) 神学研究の基礎※ 神学総合演習※ 実践神学演習Ⅰ 研究指導						
専任	准教授	John Randall Short (42)	平成24年4月	聖書学特殊研究Ⅳ (歴史書研究) 聖書学特殊研究Ⅴ (聖文書研究)						
兼任	教授	櫻井 園郎 (64)	平成24年4月	神学・教会特殊研究Ⅹ (教会と法律)						
兼任	教授	倉沢 正則 (60)	平成24年4月	神学・教会特殊研究Ⅳ※ (現代キリスト教の世界的展開)						
兼任	准教授	宮脇 聡史 (42)	平成24年4月	神学・教会特殊研究Ⅳ※ (現代キリスト教の世界的展開)	兼任	講師				大阪大学世界言語研究センター への転出
兼任	講師	丸山 忠孝 (73)	平成24年4月	神学・教会特殊研究Ⅴ (宗教改革史)						
兼任	准教授	大和 昌平 (57)	平成24年4月	神学・教会特殊研究Ⅹ※ (日本の諸宗教とキリスト教)		教授				教授昇格
兼任	講師	清野 勝男子 (68)	平成24年4月	神学・教会特殊研究Ⅹ※ (日本の諸宗教とキリスト教)						

- (注) ・認可申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・年齢は、「**認可時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成24年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」, 「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
また、「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 - ・専任教員を変更する場合は、当該専門教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。

(2) 専任教員数

認可時の計画			変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
6	1	7	6	1	7		
(6)	(1)	(7)	[0]	[0]	[0]		

- (注) ・「認可時の計画」には、設置認可時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成24年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置認可時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			「該当なし」
2			
3			

(注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「該当なし」

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (23年10月)	設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を履行するとともに一部では設置計画を上回る状況で実行している。また、全学をあげ大学院の教育研究活動の充実、水準向上に努めている。	「該当なし」
設置計画履行状況 調 査 時 (25年2月)	神学部国際キリスト教福祉学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	過去4年間の実績をもとに、神学部国際キリスト教福祉学科の入学定員を平成26年度より20名から16名に変更(届出済)し、定員充足に努める。	「該当なし」

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<神学研究科 神学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
【入学者選抜の概要】 募集要項案	募集要項の公表に当たり、誤字など一部表現を修正するとともに、内容を充実させた。（別添「募集要項」参照）

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

神学部長（研究科専任教員）を長とするFD委員会を設置している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

定例会を年1～2ヶ月に1回程度開催している（平成24年度実績：5回）。構成員は研究科委員長を含む教員7名。

c 委員会の審議事項等

- (1) FD活動の企画立案および実施に関すること。
- (2) FD活動に関する報告作成、評価に関すること。
- (3) FD活動に関する情報の収集と提供。
- (4) その他、FD活動の推進に関すること。

② 実施状況

a. 実施内容

- ・ 教員を対象とした研修会・フォーラム、ワークショップを毎年実施している。
- ・ 教員相互の授業評価・講評会を実施している。
- ・ 各教員についてアカデミック・ポートフォリオを4部門（教育・研究・大学運営・社会貢献）について収集し、ホームページにて公表している。
- ・ FD活動報告書を毎年作成し、公表している。
- ・ 学外で行われるFD活動に関する研修会に教員を参加させている

b. 実施方法

FD委員会が中心となって企画立案し、教務部をはじめとする各部署との協力体制のもとに実施している。

c. 開催状況

夏期に行われている教員研修会は開学以来の伝統であり、その他の事業も多くの教員が参加し、その協力を得て活発に行われている。平成24年度は、8月29日に「TCUに求められているグローバル化教育と国際キリスト教学専攻」と題しフォーラムを実施した（出席者：21名）。

d. 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

学生による授業評価アンケート、教員による授業相互評価に基づき、FD委員会による検証と講評を行う。また学部長による面談にてアドバイス等を行っている。上記を受け、各教員は、ポートフォリオにおいて自己点検・評価を行い、目標到達度を確認した上で改善点を設定し、シラバスの作成や授業を行い、改善に努めている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

大学院を含む全授業科目において実施した。

平成24年度実施時期：春学期6/19-7/3、秋学期11/14-12/7、冬学期2/21-3/8

b 教員や学生への公開状況，方法等

教務部窓口においてアンケート結果を閲覧できる。

教員へはアンケート結果を返却する際、学生へはアンケート実施時に公開の旨周知している。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

大学院設置認可以降、入試選考に至る開設準備については、新たに選考された研究科委員長を中心として、研究科委員会により滞りなく実施された。

現在、自己点検・評価についても、大学自己点検評価委員会との協力のもと、設置の趣旨の実現状況等を中心に、研究科委員会において実施し、報告書を公にする予定である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成26年5月1日(予定)

b 公表方法

・大学ホームページ

③ 認証評価を受ける計画

大学基準協会による認証評価を平成20年度に、その評価結果に基づく再評価を平成23年度に受審した。次回認証評価は平成27年度に受審予定である。

(注) ・ 設置認可時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有) ・ (無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期)

(平成25年7月1日)